

農業委員及び農地利用最適化推進委員の推薦・募集について

農業委員会等に関する法律の一部改正により、農業委員の選出方法がこれまでの選挙制から、村長が農業者等に推薦を求め、募集を行い村議会の同意を得て任命する方法に変わりました。また、新たに各担当区域において農地利用の最適化（担い手への農地の集積・集約化・耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進等）を推進する農地利用最適化推進委員が設けられ、農業委員会によって委嘱されることになりました。

村農業委員会では、次のとおり農業委員及び農地利用最適化推進委員の募集を行います。

● 募集期間 … 4月2日(月)～5月1日(火)

● 主な職務の内容

- (1) 農地の権利移動、転用許可等の審議及び決定並びにこれらに関連する聞き取り及び現地調査
※ただし、農地利用最適化推進委員は決定ではなく助言を行うものとする
- (2) 担い手への農地の利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消並びに新規参入の促進等に伴う現地調査及び指導並びに監視業務等
- (3) 農家からの相談対応及び農家への助言・指導

● 募集内容

農業委員に担当区域はありませんが、農地利用最適化推進委員は担当区域ごとに募集を行います。

	地区	区域	定数
農業委員	全域	全域 ※定数の過半数以上が認定農業者であること、また1人以上の中立的な立場の者の選任が法律で義務付けられています。	7人
		農地利用最適化推進委員	
農地利用最適化推進委員	草野地区	草野、深谷、伊丹沢、関沢、小宮、八木沢・芦原、大倉、佐須、宮内	6人
	飯樋地区	飯樋町、前田・八和木、大久保・外内、上飯樋、比曾、長泥、蕨平	5人
	白石地区	関根・松塚、白石、前田、二枚橋・須萱	2人

● 任期

【農業委員】平成30年7月8日から平成33年7月7日まで

【農地利用最適化推進委員】

農業委員会が委嘱する日（平成30年7月8日以降）から平成33年7月7日まで

● 報酬額 ※活動により予算の範囲内で費用弁償が支払われます

農業委員・農地利用最適化推進委員 年額222,000円

農業委員会長 年額295,000円

● 推薦、応募の資格、応募の方法については、村ホームページまたは同封したチラシをご覧ください。

詳しくは、農業委員会事務局まで問い合わせください。

問 飯館村農業委員会事務局 (☎0244-42-1629) 〒960-1892 飯館村伊丹沢字伊丹沢580-1



▲イラストレーター・わたせせいぞうさん(左)



▲ふるさと住民票第1号の佐藤道子さん



▲ふるさと住民票のデザイン。右側がわたせさんデザインです

住所がなくても、村民に
3月10日、村役場で村が新しくはじめる交流事業制度「ふるさと住民票」の記者発表が行われました。この制度は、村に住民票がなくても、村に興味・関心がある方に「ふるさと住民票」を発行し、村の魅力を感じてもらえるようなイベントや1日村長体験等を通して村とのつながりを深めてもらうものです。
住民票のカードは全3種類。そのうち1種類はイラストレーターわたせせいぞうさんが村の花ヤマユリやカスミソウを描いたものです。
ふるさと住民票は、村ホームページや窓口で無料登録できます。村に関心をお持ちの方や応援くださっている方に、ぜひお知らせください。

「あたりまえをありがたいと思う日」宣言

気づいたのです 原発事故の避難であたりまえが 実はちっともあたりまえじゃなかったこと
あたたかなご飯が 食べられること
畑の採れたて野菜が 味わえること
家のお風呂に ゆっくり浸かれること
家族が 一緒に笑っていられること
あの日 なくした あたりまえが恋しくて 恋しくて 泣いてそして 気づいたのです
あたりまえと 思っていた 毎日は たくさんの 尊い営みや思いやりや愛情で大切に つむがれていたのだと
飯館村は 3月11日を「あたりまえをありがたいと思う日」に制定します
あたりまえの日々への 感謝を忘れないために あたりまえの本当の意味を 未来に伝えたいから
平成30年3月11日 飯館村



▲式には高木陽介衆議院議員(左端)も出席しました

日常に、あたりまえに、感謝
村は、避難生活の中で感じた何でもない日常への感謝を忘れないために、東日本震災が発生した3月11日を「あたりまえをありがたいと思う日」に制定しました。
村役場で行われた宣言式では、上田秀さん(草野) 大谷結美さん(飯館中2年) 木幡圭吾さん(飯館中2年) が避難生活で感じた「あたりまえをありがたいと思う」エピソードを話し、宣言を読み上げました。村では、今後は3月11日に、あたりまえに感謝を感じられるようなイベント等を行う予定です。